

問 多様な人材の社会参加促進を

答 重層的支援体制の整備



議員 貴大 江崎

無会派

問 障がい者雇用促進のための出前講座に参加した市長の想いは。

答 (市長) ハローワーク、海部障害者就業・生活支援センターと、より一層の連携を図り、今後も障がい者にとって働きやすい職場環境づくりに努める。

問 障がい区分ごとに試験等の配慮は。

答 (総務部長) 集団討論試験の免除。

問 市役所での障がい者の仕事についてアドバイスをもらう機会は。

答 海部障害者就業・生活支援センターの担当者からアドバイスを受けている。

問 他自治体と話し合う機会は。

答 情報共有を図り意見交換を適宜実施している。



▲愛知県教育委員会より

問 特別支援学校等と話し合う機会は。

答 定期的な話をする機会はないが今後は学校と連携を図る。

問 市役所でも職場体験を受け入れては。

答 特別支援学校との情報共有を図り意見交換して行く。

問 障がい者がトライアルする機会は。

答 現在は設けていないが障がい者雇用に努める。

問 重層的支援について市長の考えは。

答 (市長) 全庁一体となって進めていく。

問	市有財産の利活用は
答	公有財産利活用検討部会で検討

問 利活用候補地に挙がる基準は。

答 (総務部長) 公共施設の用途を廃止後利用されない土地等。

問 旧歴史民俗資料館跡地の活用方法決定の経緯は。

答 海南病院に打診し快諾。

問 十四山総合福祉センター南の行政財産利活用の経緯は。

答 リハビリルームも併設できる診療所の土地を、賃貸での打診があり医療施設の用地として貸付予定。

問 市有財産の利活用に関する公表や公募はなされているのか。

答 市HPで公表、未利用地の活用アイデア募集を掲載。

問 貸与や売却を希望する人が現れたらどのような対応になるのか。

答 所管する課で利用目的を聞き取り、公有財産利活用検討部会で検討。

問 十四山中学校跡地の利活用の流れは。

答 (教育部長) 教育委員会で教育施設としての活用を検討し、小・中学校統合推進計画部会で利活用の検討を進め、弥富市公共施設マネジメント推進会議で方向性を決める。

問 小学校跡地の利活用の審議機関、構成人員、決定プロセスは。

答 関係部課長10人程度で構成する小・中学校統合推進計画部会で、跡地利用が決定するまで、その都度検討をしていく。



▲旧歴史民俗資料館跡地